



大森六中だより

令和4年 2月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

不断の努力から得る自信



立春を過ぎましたが、まだ春は遠く、寒い日が続きます。食事、運動、睡眠により免疫力を高めて、体調管理を心がけることが何より大切に思っています。

さて、朝、正門に立っていると、正門脇に聳え立つ2本の立派なヒマラヤ杉が目に残ります。古い卒業アルバムをいくつか捲っても学校創立の時からそこにあったものなのか確かめることはできませんでした。ヒマラヤスギについて調べてみると、まず、「スギ」と言いながらマツ科の植物であることに驚かされます。そして、名前からも伺えますが在来種ではなく、明治12年に横浜に住み英字新聞ジャパン・ヘラルドを手掛けた英国人ジャーナリスト、ヘンリーブルック氏がインドから種子を取り寄せ、増上寺の門前に植えたものが最初とされ、さらに横浜植木という会社が学校等に無償配布したことで普及したそうです。また、インドの民族宗教であるヒンドゥー教において、ヒマラヤスギは聖なる樹木として崇拝されており、ヒマラヤスギの森は古代インドの賢者が好ん

で住み、聖なる場所とされています。

このように、普段目にするものに関心を持ち調べると、知識が広がる喜びがあります。

北京オリンピック金メダリスト平野歩夢選手の言葉

スノーボードハーフパイプで金メダルに輝いた平野歩夢選手の活躍に感動しました。特に心を揺さぶられたのは、3回の試技の中の2回目に、史上初の高難度の技で構成された滑走を成功させたのにも関わらず、その時点で2位の得点しか与えられなかった事。海外ジャーナリストもこの事に異を唱えていました。しかし、平野選手は競技後に「この怒りが切れないなかの3本目。それはいい意味で、いつも以上に、怒りとともに集中できていた。また普段とは違う強い気持ちでスタートできた」と述べています。普通なら冷静さを失うところですが。しかし逆に集中できたのは、「一日、50本、60本かなり練習をやってきたことが3本ともメイクできたのかな」との言葉から伺える不断の努力により持ちえた自信なのでしょう。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

ユネスコスクール加盟記念講演会

1月11日は、ユネスコスクール加盟記念日に因んで、講演会を毎年行っています。今年は、10年目の節目に、日本防災士会東京都支部 港区ブロック長の三戸谷 二郎氏に来ていただき、講演していただきました。本校の生徒は、3年間の学びの中で、防災学習を多くの機会を設けて体験含めて訓練しています。1年は



「そなエリア」、2年「まちなか点検」。3年で「学校防災訓練」、「普通救命救急」と、計画的に学んでいるため防災士の方からのお話は、学びをさらに深める形となりました。お礼のお手紙をお送りしたところ、ご丁寧にお返事をいただきました。その中で、「自然災害に向かうのは、通常の生活を継続するためです。従来の防災・減災行動以外に『これは大丈夫かな?』という素朴な疑問を解決していく行動力を身につける努力を惜しまないようにしてください。」と書かれています。自然災害に立ち向かうために、日頃の備えと、訓練を真剣に行うこと心がけましょう。

黒鶴稲荷野草レスキュープロジェクト

大田区南馬込にある黒鶴稲荷神社の移転工事が2021年6月から始まるに当たり、地域住民の方が「貴重な地域の植栽の宝庫が失われる」ことをSNSで嘆いたことで、植生保全の専門家佐々木さんが「是非、地域の貴重な植物と、土壌の中

に暮らす生き物たちを救い出して、大田区内で保全するお手伝いをしたい」と、プロジェクトが始まりました。そのプロジェクトの中心となっているメンバーの中に、毎月大岡山花壇メンテナンスでお世話になっているNPO法人大田・花とみどりのまちづくりの牧野さんもいます。

今回六中が、その植生に協力することとなり、下校庭の図書館側に囲いを作り、1、2年生のボランティアが参加して、1時間半かかって、野草園を作り上げました。バスケットボール部、陸上部、自然科学部など、総勢40名ほどが集まり、花壇づくりから、植生まで行いました。

大田区のことを憂えてつぶやいた一言が、人を動かし、大きな力になっていくことを今回感じました。これこそ、SDGs達成のためには、こういうつぶやきや気づきの一言から疑問や課題に感じ、行動に移す人がいて、大きな動きを生み出すことにつながる必要があります。今回、目標達成につながることを感じさせる活動でした。

寒い中、気持ちよく参加してくれた生徒に感謝すると同時に、こうした生徒たちを誇りに思います。



大田区立中学校連合書初展

1月22日(土)から1月28日(金)の期間、池上会館にて大田区立中学校連合書初展が行われました。生徒たちが冬休みに書いた作品の中から、各学年の優秀作品が展示されました。1年生は3名、2年生は4名、3年生は5名が出展しました。展示会期が終了した作品は、現在校内3・4階の階段にて掲示されています。どの作品も力強く美しい、元気が出る字です



大田区立中学校連合技術・家庭科展



2月1日(火)から2月7日(月)の期間、池上会館にて、大田区中学校連合技術・家庭科展が開催されました。技術・家庭科で生徒が制作した優秀作品が展示されました。

技術科からは木工作品とLEDライト、家庭科からはブックカバー、世界や日本の食文化調べ、食品ロス削減に向けた給食1品企画が展示されました。

3年生が取り組んだ給食1品企画は、生徒たちが考案した1品が実際に給食として作られました。お昼の放送で献立が紹介され、生徒たちは食材に感謝しながらおいしくいただいていた。

大森第六中学校の展示ブース



「食品ロス削減に向けた給食1品企画」の紹介

生徒たちが各班で考案した段階のものと、実際の給食の写真をみることができました。

～地域の今から、世界の未来へ～

第1学年社会科見学「景観まちづくり」

1月25日に社会科見学「景観まちづくり」学習を実施しました。

「持続可能な社会の実現に向けて、地域の強み弱みを知り、将来の担い手としての自覚を持つ」「この街で活躍されている方の話を聞き、自分たちが住んでいる地域の様々な面を知る」「地域の良さや特徴を知り、郷土への誇りと愛着を育て、自分たちがこれからの社会を担っていくという気持ちを育む」等の目標の下、訪問先の活動調べ、行き方の確認、質問内容の検討、始めの挨拶・質問・お礼の言葉の練習など、準備万端整えて、当日を迎えました。

コロナ禍にもかかわらず、ご協力いただきましたアルプスアルパイン(株)・(株)昭和製作所・田園調布警察署・大田区都市計画課・大田区郷土博物館・大田区立龍子記念館・勝海舟記念館・大田区調布地域基盤整備事務所・大田区議会・田園調布せせらぎ館・千束特別出張所・大岡山北口商店街振興組合・洗足風致協会・東京工業大学博物館・洗足池図書館・大田文化の森・大田区立総合体育館の皆様、有難うございました。

その後、班で協力して、学ばせていただいたことを12枚のパワーポイントにまとめ、各クラスで発表会を行いました。それぞれが学び、考えたことを共有することができました。行き帰りの規律や事後学習への取り組み方など、班によっては反省点があったようですが、それらは次回の課題としたいと思います。まずは、25班すべての班が上記の目標をおおむね達成できたのは、温かく見守り、ご協力してくださった方々のおかげです。2年生での「まちなか点検」につなげたいと思います。

